



ご当地キャラTopics

まちなかでロードトレインが運行！

ふくしまDC企画として、会場の新幹線「はやぶさロードトレイン」が走りました。まちなかでは初の試みで、家族連れなどがロードトレインからの眺めを楽しんでいました。

また、東北本線の福島駅から新白河駅間では、イベント列車臨時快速「ご当地キャラ白河号」として4両編成の「ジパング」が運行されました。



▲まちなかを走るロードトレイン

ライブラリー白河がウェルカムゾーンを演出！

「白河発、ミライをつくる全員参加型文化祭」をテーマに地域を盛り上げている「ライブラリー白河」が「ウェルカムゾーン with ライブラリー白河2015」を開催しました。福島おもてなし隊や白河を中心に活動するABOO Singersなど、様々なアーティストが歌やダンスを披露したほか、がくとくんバンドにしらかわんが参加し、会場を盛り上げました。



▲ダンスを披露する福島おもてなし隊

- ①ご当地キャラ大パレード
- ②ダルライザーステージでのヒーローショー
- ③しらかわんのPRタイム
- ④小峰シロショーでの小峰シロと桜花
- ⑤子どもたちと一緒に県南9市町村のキャラがダンスを披露
- ⑥くまモンのPRタイム (1日目)
- ⑦ひこやんのPRタイム (1日目)
- ⑧初登場のふなっしー (2日目)
- ⑨キビタンスステージでダンスを披露する向嶋言問姐さん
- ⑩八重たんステージでの「洋介お兄さんといっしょ」(2日目)
- ⑪子どもたちと触れ合うはなちゃんみ
- ⑫人気者のメロン熊
- ⑬ふなっしーを一目見ようと集まった来場者

また、両日行われた「ご当地キャラ大パレード」では、小峰通りに100体以上のキャラが並び、沿道からは大きな歓声が寄せられました。さらに、JR白河駅前イベント広場と市役所本庁舎裏側駐車場などに置かれた飲食ブースでは、県内のご当地グルメを買い求めるたくさんの姿が見られました。様々なキャラとの触れ合いは、多くの来場者を楽しませ、会場は元気で笑顔であふれていました。

◎ご当地キャラこども夢フェスタ in しらかわ2015を開催

ふくしまの元気を「しらかわ」から発信

6月6日・7日の2日間、全国のご当地キャラクターが集結した「ご当地キャラこども夢フェスタ in しらかわ2015」(以下夢フェスタ)が開催されました。今月号では、2日間のイベントの様子を紹介します。

☎本庁舎観光課 ☎1111 内2214

今年で3回目となった夢フェスタは、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」(以下DC)に合わせ、例年9月に開催していたものを早めて行われました。昨年を上回る計188体のご当地キャラクター(以下キャラ)・ヒーロー・萌えキャラが全国から集まり、2日間で計17万人の来場者が会場を埋め尽くしました。

今年は、昨年のしらかわんステージ(市民会館前)、キビタンスステージ(小峰通り)、小峰シロスステージ(白河信用金庫本店前)、ダルライザーステージ(JR白河駅前イベント広場)の4会場に加え、八重たんステージ(市役所本庁舎裏側駐車場)とウェルカムステージ(コンピエーニユ広場)を新設し、計6ステージでそれぞれのキャラなどがPRを行いました。

中でも、7日に行われた、初登場のふなっしーによるステージには、間近で見ようと多くの方が詰め掛け、会場は熱気に包まれていました。

元気で笑顔があふれた会場